

第10回 喀痰誘発研究会へのご案内

喀痰誘発研究会 事務局
藤田 明

謹啓 先生方におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年で10回目を数えることになりました喀痰誘発研究会は、去る2009年に、「喀痰誘発」の分野で、呼吸器疾患における新たな診断及び治療の方法を開拓し、医療分野ひいては社会に貢献する事を目的として発足いたしました。

ラングフルートをはじめとする喀痰誘発法に関する研究成果の共有、臨床研究の実施および使用経験の共有等や、発明者のホーキンス氏を迎えての意見交換など、毎年大変有意義な場となっております。

本年度の総会は、岡山コンベンションセンターで開催される第92回日本感染症学会・第66回日本化学療法学会学術講演会の会期中（5月31日（木）～6月2日（土））の6月1日（金）に、最寄りの会議室にて開催する運びとなりました。

平成28年4月に保険収載されました排痰誘発法の普及状況、および採用病院における運用の状況に関する報告をはじめ、一昨年より東北大学病院にて行われています肺がんの喀痰細胞診における排痰誘発法の適用可能性に関する臨床研究の経過報告を予定しております。

また、昨年9月には当研究会主導で行われた多施設での臨床研究の成果が国際医学誌に掲載されましたので、その報告も予定しております。

すでに排痰誘発法の適用の始まった医療機関から、様々な質問や報告もございますので、ラングフルートによる排痰誘発法に対する質疑応答やアドバイス、今後の適用の拡大に向けての意見交換ができればと考えております。

記念すべき第10回の総会に、ぜひともご都合を合わせてご参加いただきたく、ご案内を申し上げます。

謹白

記

<会合名> 第10回 喀痰誘発研究会

<日時> 30年 6月 1日（金）18時30分～20時30分

<会場> 岡山国際交流センター3F研修室

住所：岡山市北区奉還町2丁目2番1号

アクセス：JR岡山駅西口から徒歩3分、岡山コンベンションセンターから徒歩4分

TEL：086-256-2226

<会次第(予定)>

1. 平成29年度の活動報告・会計報告および総会
2. 「呼吸運動装置による誘発喀痰検査の有用性に関する観察研究」臨床研究の経過報告
3. 追加発言、学術報告、など
4. 「排痰誘発法」の保険適用後の普及状況および使用法に関する報告
5. 新たな排痰デバイスの紹介
6. 今後の臨床研究等の活動に向けてのディスカッション

<参加方法> ご参加希望の先生におかれましては、30年4月20日（金）までに、出欠のご返事を、添付の申込はがきに、お名前、ご所属、ご連絡先をご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

ご参加のみでも結構ですが、当日研究会への申込書を準備してあります。新たにご入会をご検討頂けると幸いです。また、飛び入りも可能ですので、学会の折、興味をお持ちの先生方をぜひお誘いあわせの上、ご参加下さい。当日はお弁当を準備しております。

<お問い合わせ窓口> 東京都保健医療公社 多摩南部地域病院 副院長 藤田 明

〒206-0036 東京都多摩市中沢 2-1-2

電話 042-338-5111 (代表) e-mail: akira_fujita@tokyo-hmt.jp